人形劇団 むすび座

わんぱく劇場

組回覧

ぞうくんのさんぽ

ロングセラー絵本が
人形劇になりました

『ぞうくんのさんぽ』
作・絵／なかのひろたか
（福音館書店刊）より

軽快な名古屋弁で
お送りする
ホームドラマ人形劇！

ペラがえる

『ペラがえる』
作／うどんあこ
絵／市居みか
（佼成出版社刊）より

図書館夏休み人形劇おたのしみ会　2026 下條村子ども読書旬間

◆日時／8月1日（土）　10:15 開場　10:30 開演

◆場所／あしたむらんど下條　かいぎ室

申込不要／入場無料

人形劇団むすび座

ぞうくんのさんぽ

『ぞうくんのさんぽ』
作・絵／なかのひろたか
（福音館書店刊）より
構成・演出・美術／和田周子
音楽／板倉歌奈子

今日はいい天気。ぞうくんはごきげんでおさんぽに出かけます。かばくん・わにくん・かめくん、途中で出会った友だちを次々に背中にのせて、ぞうくんはおさんぽを続けます。「ぞうくんはちからもちだね」。でもだいじょうぶかな？

ペラがえる

『ペラがえる』
作／うどんあこ
絵／市居みか
（佼成出版社刊）より

脚色／吉田篤司
演出／大野正雄
美術／しみずちか（パペット工房Gokko）
音楽／岡田健太郎

ある日、ごうくんが砂場で遊んでいると、名古屋のおばあちゃんに買ってもらったおもちゃの電車からカエルが出てきました。
おばあちゃんの家で仲良くなった、ペラペラしゃべる「ペラがえる」です。でも、今日のペラがえるは、体が紙みたいにペランペランでフラフラです。これでは名古屋に帰れません。雨が降らないと、ペラがえるは元の体に戻れないのです！ ごうくんは、雨を降らせて、無事にペラがえるをおばあちゃんの家に帰すことができるのでしょうか？

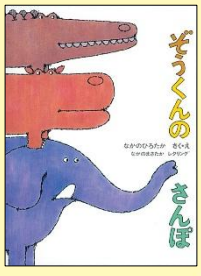
◆ 劇団紹介 ◆

人形劇団むすび座は、1967 年に丹下進・田中寛次により、東海地方で初のプロ人形劇団 として名古屋市に誕生しました。

創立以来、「子どもと子どもをむすびます。人と人とをむすびます」を合言葉に、 心の糧となる人形劇を子どもたちの生活に近い場で上演してきました。

子どもを取り巻く状況が厳しくなっていく今、子どもたちが想像の 世界（人形劇）を楽しむ中で、現実をもう一度見直し、夢を大きくふくらませ、 未来を切り拓く力を育てていく手助けをするために、子どもたち一人一人の 心と心にむすびついていきたいと願っています。

また、大人向けの人形劇の創作、海外交流、人形劇・人形作りの指導、短大講師等の活動も行い、人形劇の一層の普及を目指しています。



原作絵本
『ぞうくんのさんぽ』

日時：8月 1 日（土）
10:15 開場　10:30 開演
上演時間：約 50 分
対象：幼児～（赤ちゃんも入れます）
幼児の参加は保護者同伴でお願いします
定員：150 名

＊申込はいりません　＊入場無料です
＊飯田人形劇フェスタのワッペンは不要です

お問い合わせ
下條村立図書館
TEL0260-27-3585
book@vill.shimojo.lg.jp